

## 患者さまへ

### 「間質性肺炎急性増悪患者の日常生活動作(ADL)の変化量について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2014年1月～2024年12月に間質性肺炎増悪、急性増悪で当院に入院された方
2 研究目的・方法	間質性肺炎とは、肺胞が損傷する疾患の総称のことです。また、急性増悪とは呼吸状態が不安定となり症状の回復が難しい状態になることです。治療は、点滴や内服に加え呼吸リハビリテーション(以下、リハビリ)なども用いられます。間質性肺炎でかつ急性増悪患者さまに対してのリハビリ報告は少ない状況です。そのため、本研究では該当する患者さまの入院に伴う日常生活(ADL)等の変化などについて検討します。それにより、今後のリハビリ介入の一役を担うことができる可能性があります。 研究の期間: 施設院長許可後(2025年1月)～2025年12月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまのご家族等で患者さまの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、ボディマス指数(BMI)、介護保険の有無、同居家族の有無、病歴、日常生活動作評価の結果、入退院時の血液検査データ等
5 個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。  研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科 落合佑太 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2025年1月30日作成(第1.1版)